

動物園飼育日記

—〈277〉—

亀井一成

〈王子動物園学芸員〉
写真撮影も筆者

ベンガルトラ 誕生す



トラのオスが壁に向って放尿する時、少しでも高い所へ尿の臭をつけておこうとしている。尿の位置が体格を示すことにもなるので、少しでも巨大なトラであることを見せておこうというのだらう。

イヌのそれに似ているが、トラのオスは後ろへピューとかなりの勢いで飛ぶので、ぶつかった尿が壁一面にとび散るので褐色に染る。

仔細に見ると尿だけではなく糞も一定の所にしていることが分った。

つまり排便が「定位性」なのだ。

何故トラやライオンの排便の位置が決っているのだろうか。他の動物はどうなのか。比較して見ると次のようなことが分ってくるのである。

【襲う側の肉食動物は「定位性」】

ライオン、トラ、ヒョウなどネコ科。タヌキ、キツネなどイヌ科。アナグマ、イタチなどイチタ科の動物は定位性である。



それはナワバリを示すものだが、そこには先住者がいることを示すことになるが、餌物となる草食動物にとっては、そうした排便の位置を知ること、遠ざかり危険から逃れることにもなるのだが、それでも肉食動物の大半は自分の存在を明らかにする定位性排便が多い。

よく考えるとこうした糞便によるナワバリの指表は、どうやら仲間間のバランスのとれたハンティングテリトリーの維持に役立っている。

つまり多数の肉食獣が集めることは、草食動物が激減していく。

それがまた捕食者の肉食動物の生存をも危くしてしまうだろう。

とすれば、肉食動物の「定位性排便」は同種間、つまり、トラとトラとのナワバリの重複を避けるためのものと言えるのだ。

【襲われる側の草食動物は散糞性】

一方襲われる側の草食動物の大半は、ボロボロと糞を何処へも落して歩く。一定の所に排便することは少ない。

キリン、シカ、ヤギ、ゾウなどは、非常に広い行動圏を移動しながら草を食べているので一定の所には排便しない。

あちこちに落している方が天敵の襲撃を錯乱させることにもなるだろう。さらには、糞と未消化の種や実を撒き落しておくことにもなるだろう。つまり「散糞性」が食物連鎖のバランスを支える一助ともなっているのである。

【排便によるマーキングと繁殖】

そのトラのマーキングが近頃、目立ち始めた。洗えばよいにひっかけて回るオスの顔が血走っ

ている。

「発情だな」

見事に予感的中した。およそ7日間の交尾期を迎えたあと、109日めの早朝。

昭和36年11月28日。ベンガルトラのメス(アイ)が双子を生んだ。

母親の体重130kg位。それにしても子トラは小さく1kgはうつ伏せたまま動きもせず眼も閉じ、泣声も弱々しい。猛獣にしては考えられない程、小さな赤ちゃんである。

どうやら双子のようだが母親のアイが向う側に抱きかかえているから、子の姿を見るのに時間がかかった。

「双子が固っている」



生後40日のベンガルトラ

小さな体をピッタリ寄せあうように頭を並べ眠っていた子トラは、たっぷり乳を飲んだから、泣声もださずに眠っていました。

もし、授乳できないままなら、子は、バラバラに歩き回りさかんに泣くはず。

母親が水呑場に立上ったら反射的に双子が固るのは感心させられました。

トラやライオンの子は猛々しい親に似ず未熟な子で体重生後1kg前後。生後2カ月位までは手掴みで抱き上げるほど弱々しい。

トラの生活は、基本的には単独生活なので母親だけで子育てをする。

動物園でもオスとメスは発情期のほかは激しく争うのでオスを別居させているのです。

自然界でも母親は倒木や岩穴の中で子を生み育てますが、時折り子を置いて餌物を捕えに出かけます。

そんな時、子が不用意に動きだしたことから誤って転落してしまった。それを母親が口で啗えて元に戻します。

そうしたところを見たのでしよう。

「トラは千仞の谷に落す」といわれますが、決して突き落とすなどしません。

母親(アイ)は係員の気配を知ると、そりりと啗えては部屋の奥へ隠してしまうのです。

食肉目ネコ科

トラ、(ベンガル) 母親、北九州到津遊園生まれ(分布) ネパール、中国東北部、アムール、ウズリ、インドネシアなどの針葉樹林。落葉樹林、マングローブ林に住む。

父親ロック、母親アイ、60年2月生まれ。



SAMOTO CLINIC

佐本
産科

ママといっしょに



赤ちゃん

津山いずみちゃん (昭和63. 9. 14生)

神戸市北区在住

“女の子らしく素直な、やさしい子になってね!!”

★佐本産科・婦人科★

佐本 学

神戸市兵庫区中道通4-1-15

☎575-1024(病室☎576-9639)

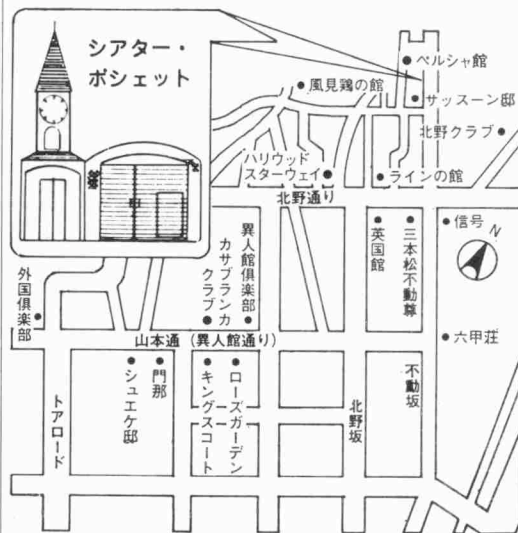
市バス上沢4停南スグ

実験交流サロン

シアター・ポシェット

1月の公演

22日(日) 13:30 ファミリーコンサート(有料)



★シアター利用のご案内

- 曜日、時間/土、日曜日(通常)AM10:00-PM8:00
- 費用/ホール設備の使用無料。光熱、空調、管理費のみ実費
- 付帯設備/グランドピアノ・エレクトーン・録音、音響機器、ミキサー、照明コントローラー・テープレコーダー、マイク、映写機等
- お申し込み、お問い合わせ
そごう前センター街東南角、さんちか入口
〒650 神戸市中央区三宮町1丁目5-1 住友銀行ビル6F
佐本小児歯科 佐本進 ☎331-6302~3

モダンダンス

今岡頌子舞踊団

今岡頌子・加藤きよ子

神戸市中央区三宮町1-5
TEL 078-391-1518

神戸

ネオトロピカル協会

会長 森 美代子

神戸市中央区山本通2-2-7
TEL 078-222-5875
242-5690

盛物・いけばな

知 香 流

家元 成瀬 香梅

神戸市灘区深田町2-3-4
TEL 078-851-8113

あなたを、新発見

サロン・ド・ポートピア
文化教室

ポートピアホテル
神戸市中央区港島中町6-10-1
TEL 078-302-1111
FAX 078-302-6877

(財) 小原流

理事長 小 原 夏 樹

神戸市東灘区住吉山手4-12-70
TEL 078-811-0871

フラワーデザイン

「花のかたち」より
「花のこころ」を伝えたい

マミフラワー
デザインスクール
神戸教室

はなくりえーしょん
(神戸大丸6F)

寺 尾 啓 子
神戸市東灘区田中町5-1-12
東灘スカイマンション710
TEL・FAX 078-453-3462

21世紀へ 翔び立つ



書・望月美佐

今、文化は 神戸から



一九八九元旦

須磨寺

小池義人

神戸市須磨区須磨寺町4-6-8
TEL 078-731-0416

佳生流華道

家元 西村雲華
副家元 西村公延

神戸市中央区野崎通3-3-21
TEL 078-221-6239

橋本幸子バレエ研究所

クラシックバレエ 橋本幸子

クラシックバレエ生徒募集入会随時
花隈中央通り(山手教室)

神戸市中央区花隈町33-24
TEL 078-341-1884

専正池坊

家元 諸泉祐陽

神戸市東灘区住吉山手3-2-21
TEL 078-811-1601

貞松・浜田 バレエ学園・バレエ団

貞松 融・浜田 蓉子

神戸本部スタジオ完成記念
公演

「くるみ割り人形」全幕
4月16日(日)
神戸文化大ホール

神戸市灘区畑原通3-6-6
TEL 078-861-2609

みやび流押絵

二代目家元 小西絹甫

芦屋市公光町3-15
TEL 0797-34-1001
※芦屋教室募集中
ラポルテ4F朝日カルチャーセンター内
TEL 0797-38-2666

21世紀へ 翔び立つ



書・望月美佐

<p>丹波延年窯</p> <p>市 野 弘 之</p> <p>多紀郡今田町上立杭 TEL 0795-97-2212</p>	<p>舞子焼末汎窯</p> <p>南 汎</p> <p>神戸市西区神出町広谷623 TEL 078-965-2244</p>
<p>社 団 法 人 能楽協会神戸支部</p> <p>吉 井 順 一</p> <p>神戸市中央区多聞通3-1 湊川神社神能殿内 TEL 078-371-1358</p>	<p>久 田 観 正 会</p> <p>観世流能楽師 久田 徹二</p> <p>明石市朝霧山手町22-7 TEL 078-911-9513</p>
<p>大 和 楽 蘭 の 会</p> <p>大和楽理事長 蘭の会 主宰 大和 三千世</p> <p>神戸市中央区中山手通7-1-15 TEL 078-341-3653</p>	<p>清元 延柳</p> <p>芦屋市高浜町8-3-243 TEL 0797-23-0887</p> <p>積古場/大阪心斎橋ジャノメシン6F TEL 06-212-2767 213-0715</p> <p>芦屋市東芦屋町ライラック洋品店 TEL 0797-22-3430</p>
<p>日 本 舞 踊</p> <p>花 柳 流</p> <p>花 柳 五三輔</p> <p>神戸市長田区西山町4-7-11 TEL 078-621-3209 691-3140</p> <p>教室/長田交差点東側泉屋ビル4F TEL 078-576-7725</p>	<p>花柳流日舞教室</p> <p>花 柳 芳一勢</p> <p>神戸市兵庫区下裾園町10-12 TEL 078-361-4509</p>
<p>日 本 舞 踊</p> <p>若 由 会</p> <p>若 柳 吉由二</p> <p>第16回若由会公演 5月21日(日)国際会館 神戸市垂水区平磯4-2-3 TEL 078-706-0113</p>	<p>日 本 舞 踊</p> <p>吾 妻 流</p> <p>吾 妻 秀 扇</p> <p>神戸市灘区篠原北町4-11-8 TEL 078-881-0680</p>

※ 順 不 同

今、文化は 神戸から



一九八九元旦

いけばな

草月流
森 丹 草

西宮市甲子園浦風町18-17
TEL 0798-47-3596

学校法人 行吉学園

神戸女子大学
神戸女子短期大学

理事長・学長 行吉 哉女
神戸市中央区中山手通2-23-1
TEL 078-231-1001

モダン・ダンス

エコール・プラン・オオサワ

大 沢 範 子

神戸市中央区山本通5-13-9
再度ハイツ101
TEL 078-351-3418

がれりや馬亜乃

木彫 村上 喜 平
染色 白石 弘 子

神戸市中央区北野町4-9-6
伊藤マンション21
TEL 078-242-5005

財団法人

神戸市民文化振興財団

理事長 宮 崎 辰 雄
神戸市中央区三宮町1-9-1
TEL 078-332-3320

いけばな

小 原 流
亀 島 豊 鶴

神戸市長田区片山町2-1
TEL 078-642-1758

国際ソロプロチミスト神戸東

会長 西村多枝子

事務局/芦屋市船戸町4-1-415
安 井 多 津 子
TEL 0797-31-8288

神戸コンサート協会

代表 中筋 栄一

神戸市兵庫区湊川町3-3-2
TEL 078-511-5223

木 彫

はちのす会
渡 辺 一 生
渡 辺 二 笙

西宮市千歳町4-12
TEL 0798-32-3300

財団法人

兵庫県文化協会

理事長 山本 敏雄
神戸市中央区下山手通4-16-3
TEL 078-321-2131

<p>歌誌「高嶺」神戸支社</p> <p>代 表 飛 松 實</p> <p>神戸市須磨区離宮前町1-6-23 TEL 078-731-5449</p>	<p>新春のごあいさつを 申し上げます</p> <p>武 田 芳 一 (歯科医)</p> <p>1989年1月1日 文学50年未成就</p> <p>神戸市兵庫区馬場町1-3 TEL 078-350-2330</p>	<div data-bbox="805 87 1219 365"> <p>21世紀へ 翔び立つ 今、文化は 神戸から</p> </div> <div data-bbox="792 423 1243 888">  </div> <div data-bbox="970 899 1069 1151"> <p>書・望月美佐 一九八九元旦</p> </div>
<p>声楽 ソプラノ</p> <p>今 井 勲 子</p> <p>神戸市東灘区御影町西平野伊賀塚20 TEL 078-811-6689</p>	<p>声楽 メゾ・ソプラノ</p> <p>井 上 和 世</p> <p>神戸市中央区再度山大龍寺 TEL 078-371-5838</p>	
<p>神戸マリンバソサエティ</p> <p>宮 本 慶 子</p> <p>神戸市灘区曾和町2-4-7 TEL 078-821-6838</p>	<p>染色工芸の花</p> <p>RITZ FLORA</p> <p>長 浜 リツコ</p> <p>神戸市灘区篠原北町3-5-9 TEL 078-881-8500</p>	
<p>初心者から免状授与まで アートフラワー・アンティークフラワ ー・パンフフラワー・フラワーデザイン フラワーコーディネイター養成・彫金 タカコアートスクール</p> <p>天 野 剛 子</p> <p>6月初旬展示会を開催</p> <p>場所 グラシアニ邸 (中央区北野町) お問い合わせのうえ、お越し下さい ※詳しくは電話にてお問い合わせ下さい。</p> <p>神戸市中央区北野町2-16-27 TEL 078-241-3355</p> <p>大阪市北区鶴野町4-11 朝日プラザ梅田404 TEL 06-376-1414</p> <p>※その他、文化教室は近畿一円に</p>	<p>二紀会兵庫県支部</p> <p>支部長 高 崎 研一郎</p> <p>神戸市西区学園西町7-3-710-102 TEL 078-792-0230</p> <p>芸大・美大受験実技指導 初田美術研究所</p> <p>所長 初 田 寿</p> <p>神戸市中央区北長狭通5-1-2 TEL 078-351-6260</p>	

★神戸の集いから

★神戸市文化奨励賞受賞の

花柳五三輔師を祝う

11月18日の夜。

新神戸オリエンタルホテル「真珠の間」に、本年度の神戸市文化奨励賞を受賞された花柳五三輔師を祝う会が開催され、約170名が集った。発起人は、妹尾文化ホール館長と、長田高校の先輩にも当る北嶋長田区長と同窓である神撫会、五三輔会の門下生たち。

出席者には、土井芳子婦人文化協会々長、高橋市民局長、福岡フェス・ビック事務局長、伊東中央区区長、そして師匠の花柳芳五三郎夫妻、佐野蓮箕、重里文雄、谷村陽介、大和三千世さんら多彩な顔ぶれだった。



花柳五三輔氏を囲んで

★山菜料理「六段」

新装開店・十周年

落ち着いた雰囲気の中で



山田社長夫人を囲んで

季節ごとの山菜料理が楽しめる「六段」が三琴ビルに移って十周年目を迎え、そのお祝いの集いが11月19日に国際会館8階の宴会場で開かれた。神戸新聞編集委員の有井基さん、国立民族学博物館教授の石毛直道さん、詩人の君本冒久さん、全国加工水産食品協会の助川助六さんなど神戸を代表する各界の人々、およそ2百人がお祝ひにかけつけた。六甲全山の会会長の大西雄一さんが乾杯の音頭をとり、中村仁隆大師範の尺八演奏、松本尚詩さんの舞いが集いに花をそえた。

★輝やかしき熟女たち

コンサートで熱唱！

11月27日の午後5時より、生田新道のムーンライ

トビル五階の「ランタン」において、関西二紀会の松本幸三さんの門下生が集う「熟女塾」のコンサートが開かれ、日頃の成果を競う熟女たちの熱い歌声に、約百名の観客はうっとり。中西幸子、永江征子、馬淵禎子、喜多洋子、浦上諒子、井上佳子、福井尚子、服部弘子、橋本万里子、広田慶子、沢瀬弘子、増原恵美子、井波みえ子、沢田和子、青木瑞穂、足立喜久子、井上香代子さんたち熟女はイタリア語の「ラ・ボエム」のムゼッタのワルツのアリアから、百万本のバラ迄成果はめざましかった。



美しき熟女たち勢揃い

★60本の紅い薔薇

演出家の岡田美代さんが

彼女をめぐる二十人の女性たちに「それぞれ、三本の



岡田美代さんを囲んで

紅い薔薇の花を持って、新オリエンタルホテルへお出まし下さい」と、ご招待。望月美佐、藤本ハルミ、花柳芳恵一子、松本尚詩、大西節子、市野木江充子、大里最世子、仲村米子、今岡頌子、加藤きよ子さんなど神戸で活躍し、岡田演出で日頃つきあいの多い女性たちが捧げる紅い薔薇六〇本に囲まれて「六〇歳は、三度目の成人式」と、おしやれな紅華の宴を開いた。

この後、大好きな中国の旅に出かけ、また年末も上海、仙台の旅へと。若い若い！

K.F.S. NEWS 142

●11月のマンスリーサロン

“自主独往”の精神による成長を

講師 金丸 収蔵氏 <大和銀行三宮支店支店長>

11月18日（金）のマンスリーサロンは、大和銀行三宮支店支店長の金丸収蔵さんをお迎えして、大和銀行独自の経営理念とともに、情報化時代において金融機関は果たしてどういったサービスを行なっていけるか、その可能性を、また今後金融機関が社会に果たすべき役割等をお話ししていただいた。

「大和銀行の創業者は戦前の野村財閥を築いた野村徳七というものです。徳七氏は、明治37年に父から譲られた店に国債株式現物問屋野村徳七商店という看板を掲げました。これが野村財閥のもとになったのです。当時、数多くの株屋があった中で、抜きんでて成功した一因は、日露戦争後の株価の暴落にあります。徳七氏は、半落するというよみの前ですべて“売り”にでて、巨大な富を得ました。その後、欧米使節に出かけ、それがこの銀行の設立の対象になったのです。アメリカは都市銀行的な性格が強く、影響を受けた徳七氏は自分の株を確実な金融の裏付けのもとに営業されるべきだという信念のもとに大正7年に、この銀行を



金丸 収蔵氏

設立しました。

昭和に入りまして、当時大阪では住友銀行が、他の追随を許さない、強力な銀行でして、それと拮抗のできるくらいの銀行をつくらうと、3行合併問題（山口銀行・鴻池銀行・三十四銀行）がおき、野村銀行にもその話がきて、4行で合併しようという動きになっていったのです。銀行の役員も、合併やむなしまできたのですが野村徳七氏がガンとして首をたてにふらなかったのです。この時の徳七氏の方針をひとつの言葉で説明いたしますと、“自主独往”。意味はまさに字のとおり、“我が道をいく”です。この精神は、

この後、野村銀行が大和銀行に至るまであらゆる出来事の中で、いかされています。

特に、ワンマンといわれた寺尾頭取の時代におきた分離問題の中で、最も大きな意味をなしていると思います。大蔵省の高橋銀行局長が、“信託”を分離するよう行政指導をしたのですが、寺尾頭取が“自主独往”の精神で信託を守りぬいたのです。

最近の大和銀行のトピックスとしては大阪でおこなわれる“花と緑の博覧会”において融資先の会社で大輪会をつくり水をテーマにしたパビリオンをだしたり、大阪府に青少年センターを寄贈したりと新聞紙上を賑わし、従来の大和銀行ではない動きをしています。一つの銀行が独自のカラーをだすことによって、大きく流れが変わればと思っています。」

●K・F・Sの新年会

毎年、恒例の新年会。今年も有馬へ1泊2日…。

日時 1月16～17日

阪急六甲15：00出発（直接行かれる方は現地17：00着）

場所 VIVI 有馬

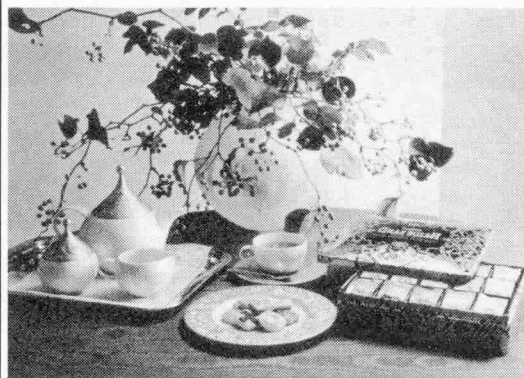
（北区有馬町石倉406-3

☎（078）904-0017

会費 ￥13,000（うち ￥3,000は会が負担）

HEIDE SAND

それは、感動を呼ぶビスケットの名作



おいしさ競い合う5つの名作——
芳醇な発酵バターに、ナッツやチョコレート
を贅沢に使い焼きあげました

¥500 (10包入) ・ ¥2000 (40包入)
¥3000 (60包入) ・ ¥5000 (100包入)



ユ-ハイム

■新年宴会予約承り中

生の
解凍すき®

日本海特産／松葉がに

満足コース

ご一人名さま **9,500円**
(税・サ込)

■ご予算、応相談

政府登録国際観光旅館

ホテル全但

〒650 神戸市中央区下山手通4-5-1〔全但会館〕
市営地下鉄山手(県庁前)駅下車東出口2番1分
電話神戸078(391)3838(代)

兵庫県民会館開館20周年感謝の集い ひょうご文化の 核となって20年



兵庫県民会館開館20周年感謝の集いに中央／三木副知事を囲んで大集合

財団法人兵庫県民会館が、下山手四丁目の栄光協会の隣りに白亜の十一階建てが誕生したのは、昭和四十三年七月十三日のことだ。

この県民会館が、二十周年を迎えて十一月二十六日の夜、十一階ホールで開館二十周年感謝の集いが開かれ、約百五十名が集った。

三木副知事は「金井知事時代に誕生したひょうご文化拠点で、五十二年には「県民アートギャラリー」を開設、五十五年には兵庫県文化協会が管理運営し、五十六年には一階の特別展示室を開き、五十七年には、ふるさと資料室、今年は「すずかけビデオ劇場」を開設し、県民に愛される県民会館に成長しました」とあいさつ。

当夜は、神戸、全兵庫県の議員さんたちや、県会民生生活常任委員会の議員、小林武雄半どんの会代表他、沢山の文化人、文化協会役員、各地域文化団体の会長、山本敏雄兵庫県文化協合理事長たちが集い、五代目館長の武市華久美さんにもこやか。

毎月一万四千人近い人が利用する県民会館は、県民の文化オアシスだ。

特によく利用されるのは、兵庫県民アートギャラリーで、大展示室は95%の利用率というから、いかに文化の時代がよくなる。

毎土曜日の午後一時三〇分から県民図書館所有のビデオテープで放映する「すずかけビデオ劇場」も、今人気が高い。

話題のひろば

<Ⅲ>

■神戸ネオトロ・Xマスパーティー

'88年を送る 白いキャンドル



(左上) 優雅に踊る会員たち。(中左) 井上・森原の模範ダンス(左中) あいさつする森会長(右上) ジャンメルオー神父の法話
(左下) 喜びの鬼塚氏(下中) 中国歌を唄う羅さん(左下) 服部良一夫妻・高木東六、森会長を囲んだ会員たち

「'88年のクリスマスは自粛ムードで、タキシードを着るチャンスがないと思っていましたら、ネオトロのお招きで晴れをいたしました今宵は楽しい夜に！」と、乾杯の音頭をとったのは長澤大丸神戸店々長。

十二月十五日(木)の午後六時半神戸ネオトロビカル協会(森美代子会長)のクリスマスパーティーは、ひかえめにと会員のみ約百人が集って、「'88年を送る白いキャンドル」をテーマに開かれた。会場は新オリエンタルホテルで最初九階の教会でジャンメルオー神父の講話とオルガンによる「聖しこの夜」の合唱。十階の真珠の間のゆったりとした雰囲気のホテルで東京から服部良一(作曲家)夫妻、高木東六さんらも参加。

森会長は「天皇陛下のお加減がお悪いので、東京の大夜会も中止になりましたが、神戸は会員だけでアットホームなパーティーを開くことができ嬉しく、いい出会いをいつも心掛けて下さる神戸のスタッフに感謝しています」とスピーチ。羅清水さんはカンツォーネと中国の歌、また高木先生のピアノで「かもめ」を唄って拍手を受けた。(ピアノは中村磨美)井上・森原コンビの模範演技は鮮やかでダンスの醍醐味だ。ネオトロダンス教室の四年間のレッスンで、会員のダンスも楽しく、神戸ネオトロらしい集いだった。

神戸を福祉の街に

181



〈社団法人家庭養護
促進協会事務局長〉
橋本 明



ぼく、どこにでもいるカバです

「福祉の文化」の創造へ

今から20年前の昭和43年10月に西宮市内に「心身障害児福祉ビューロー」という小さな民間団体が誕生した。5年後の昭和48年にはその名称を「兵庫県心身障害児福祉協会」と改め、神戸市内にも事務所を開設。発足以来障害をもった子供たちの言語訓練、機能訓練、触・視知覚訓練、感覚統合訓練など行政に先がけて次々と新しい療育活動を始めてきた。また車イスでのハワイやヨーロッパへの旅、キャンプやレクリエーション、障害児関係の図書室の開設、啓発運動、重度障害者介護主婦ボランティア・サービスなど、民間団体としてユニークな事業を企画し、実施してきた協会が昨年の11月で創立20周年を迎えた。

11月6日には20周年を迎えてポートアイランドの神戸国際会議場で記念のパーティーが開かれた。この席で協会の今井鎮雄理事長は「この20年間に社会は大きく変化してきました。コンピュータの時代になり、人間が非人間化する時代となり、これから高齢化社会を迎えると、人間が人間らしく生きることのできる社会、すなわち弱い人の側

に立って人権問題を考える必要がある。新しい価値を見つけ出し、福祉の文化を創造していくことが協会の一つの使命です」と語りかけた。同時にこの席で協会が20周年を機に出版した絵本「ぼく、どこにでもいるカバです」が披露された。この絵本のネライを冊子から引用すると「私たちと同じ地域社会に、身体の不自由な子ども、発達のおくれた子どもたちも、みんなと同じように毎日を送っている。そして、それは何の不思議もないことなのです。障害がある



20周年記念の集い（神戸国際会議場で）

も、発達のおくれた子どもたちも、みんなと同じように毎日を送っている。そして、それは何の不思議もないことなのです。障害がある



絵本の出版記念パーティー

心の中に自然に受け入れ、福祉の原点である他者
に對する思
いやりの気
持を次の世
代に活きず
かせてくれ
ることを願
って絵本の
出版と配布
を企画いた
しました」
とある。

この絵本
に登場する
カバくん
は、うれし
い時にとっ

でもこわい顔にな
ってしまふという
ひとつの障害をも
っている。この障
害をとり除くこと
はどうしてもでき
ないけれども、その障害を障害としてまわりの人
たちがそれをあがままに受け止めれば障害は障
害ではなくなり、そこからノーマライゼーション
が始まるのだ、というストーリーである。絵は大
阪に住む絵本作家の宮崎博和さん(37)が担当し、
ストーリーは宮崎さんと協会のスタッフとが一緒
に考えた。



絵本作家の宮崎博和さん

八〇〇〇部印刷し、販元店が五〇〇〇部を一般
書店で販売、三〇〇〇部を協会で販売することに
なった。協会では一般のお母さんや子どもたちに
もぜひ読んでもらいたいと考え「絵本サンタクロ
ースになってください」と呼びかけた。一冊一三
五〇円(絵本代千円と送料三五〇円)を協会に送
り、届け先を指定すれば、協会から先方へこの絵
本がプレゼントされるわけである。「20年前にこ
の協会がスタートした時は、障害児はあわれみ
や、かわいそうな子どもたち、という見方をされ
ていました。今はもうそんな時代ではなく、ノー
マライゼーションにもとづいて福祉を文化へと高
めていく時代にならなければ。その実現に向って
これからの協会は歩んでいきたいものです」とス
タッフの田坪 直さんは言う。その第一歩のステ
ップとしてまずこの絵本を一人でも多くの人達に
読んでもらうことが協会の願いでもある。

(財)兵庫県心身障害児福祉協会 神戸市中央区中山手通五十一
神戸山手阪神ビル 電話〇七八一三八二一〇二九四

★出合いの旅

中国の女性に

夢を...



大西 節子

△デザインナー▽

私是一个の仕事に取りかかる前に一度は過去を振り向いてみるのが癖である。もっとも、格好良く言えば、遠いノントラジヤにどっぷり身を沈め、その中から、ふっと湧き出てくるエネルギーの様なものによって前に押し出されて行くのかもしれない。今回、中国に赴いたのも、そういったものの様に思える。

昭和十四・五年頃、私の母の兄や、私の父が、上海に渡り事業を起こしていたのを思い出す。伯父はガラス工場を、父は中華鉄道に、長崎の港から、舞鶴の港から、東支那海と日本海とを、渡っていったのだ。五十年に近い昔のことである。

家族の間では母の兄のことは、上海の伯父さんと呼ばれていた。中国の方を二千人社員に持ち大きな工場を造っていた様で、父は古き良き時代の華鉄マンであった。

日本が、第2次世界大戦の終戦を迎えた昭和二十年の翌年、伯父の会社にいた中国の方々の暖かい助けを得て、無事に日本に帰国出来た様子を、幼ないなりに、耳に理解していたことを、はつきりと思い出す。私が、人の心と心の絆を大切に知りはじめたのは、その頃からかもしれない。又、立派な黒檀の硯箱、置物、支那のシルクの織物、母は支那緞子と、喜び大切に着物の帯にしたり私の他所行きの洋服を作ったりした。当時、支那から日本に送られてくるそれは贅沢な品物であった。荷物の宛て名の頭には、常に、大日本帝国と記してあり、荷物の

中に入れた一通の手紙に書かれた途てつまない雄大で壮観この上もない万里の長城の話を聞かされては、その光景に思いをはせ、一度はその前に立ってみたいと、幼ない胸をとぎめかしたものであった。

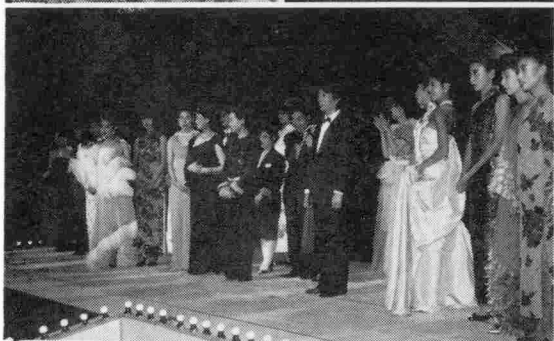
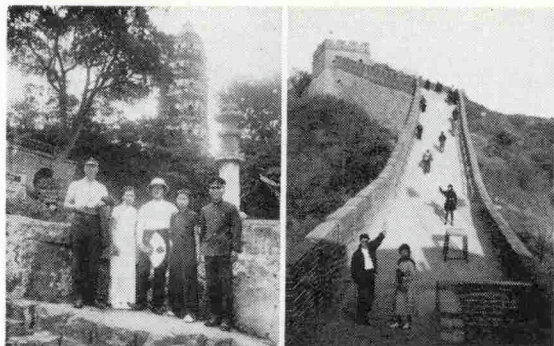
そして、ちょうど三年前、そのチャンスにめぐりあえた。私の母校、神戸フアッション専門学校の福富理事長・福富校長のおともをする機会を得たのである。北京での校長の講演とフアッションショーには、国境を越えた交流に胸うたれるものがあつた。我が恩師をこれほどにも大きく思えたのも始めてであつた。中国の芸術学校の学生、洋裁学校の生徒、北京市民、その中に胡耀邦夫人（元主席夫人）をお迎えしての講演だった。その折、ご同席申しあげた私に、夫人は人民服の襟元に隠す様に巻かれたスカーフをちらつと、お見せになり言われた。「私も、やっとこういうものをするようになりました。日本と中国の間には色々なことがありますが、あなたと私はフアッションという文化でつながれているのですね」私は、この言葉に感動した。そして翌日は天津に行き李天津市長様に会食に招かれた。中国へは、あまり派手な色は着用して行かない様にと聞かされていたが、私はあえて淡いピンクのドレスを身につけた。市長は私に、「中国は日本に四十年おくれれている。私たちは衣服について、すばらしい技術は持っている。しかしデザイン力と色彩感覚が乏しい。あなたがたの良き指導を受け研究

することが出来れば、中国の女性も、美しい色を着、すばらしいファッションを造り出すことができるでしょう」と言われた。私の脳裏を色々なことがかすめ「中国の女性に夢を」と、この秋、再び中国に渡ることを決めた。

十月二十五・六日、五千人収容の天津体育館は、爆発するほどの満席となり、外からは窓によじのぼり見ている人達、優雅なイブニングドレスのフィナーレに、会場は、ため息と、あつい熱気にわいた。ショーの最後に、私は中国のモデルに押し出される様に体育館の中央の舞台に立ち、マイクを持った。「中国の皆様、今晩は、ようこそお越し下さいました。私は日本、神戸から参りました。今年は天津市と神戸市は姉妹都市十五年を迎え、記念すべき年です。衣服の文化を通してもっと皆様と、友好を深く結んでゆけることを祈ります。謝謝（ありがとうございます）」わずか、三十秒の間に、大きな拍手と、熱い視線に、こんなにも感激の心の出合いがあった

のか——と言葉にはならない。ショーを終えて夜十時半、天津体育館の入口に出た。ホテルからの迎えのマイクロボスの前に二十人ほどの若い男性が私を待っていた。服装設計士（服装デザイナーの意味らしい）と皆んな握手を求めて、手をさしのべてくれた。又もや感激である。最後に父親が幼ない女の子をだきあげて、服装設計士にさせたい、あなたの手の技術を——と涙の出る握手をした。国境を越えた人の感情がこれほどにも、きまこまやかに心のひだにくだり込んでくるものなのか。ああこの仕事をしていてよかった。今回も、勇気を出して中国に来て、よかった。

天津から北京へ、夕映えの万里の長城の前に立つ。もう初冬を迎え、なんとすばらしい眺めか。出合いは作ろうと思って出来るものではない。一瞬一瞬を大切に生きてこそ、その中から見出せるものの様に思える。いつ又、どこで、私にこのすばらしい出合いが待っていてくれるのだろうか。



▲（上・左）筆者の亡き父。（写真・左）／（上・右）万里の長城／（中）華やかなファッションショー／（下）天津市長と乾杯／